

# 第三セクター3法人の経営健全化に関する提言

平成22年3月

人吉市行財政経営検討委員会

## はじめに

人吉市行財政経営検討委員会は、平成21年12月25日、市が資本金、基本金その他これらに準ずる出資をしている法人(以下「第三セクター」という。)の中で、くま川下り株式会社、くま川鉄道株式会社、球磨焼酎リサイクル株式会社を3社を対象に、将来に渡る経営健全化に向けた経営状況等の調査分析や経営改善策及び経営評価等について検討を行うよう委嘱を受けました。

本委員会は委員5人で構成し、6回にわたる審議を重ね提言書を取りまとめましたので、提出します。

この提言書は、企業経営及び行政とは異なる第三者の立場から、関係第三セクターの事前調査、現場視察及びヒアリングを経てまとめあげたものです。

今回の対象となった第三セクターの経営状況は、赤字基調が続いております。そのような状況の中、本委員会の意見が可能な限り反映され、市と第三セクターが連携を強化しながら積極的な改善に取り組むことを提言するものです。

平成22年3月30日

人吉市長 田中 信孝 様

人吉市行財政経営検討委員会

会長 小泉 和重

委員 栗谷 利夫

委員 高山 直子

委員 有地 永遠子

委員 小笠原 賢治

# 提 言

## 1 共通事項

歴史的な観光資源である「くま川下り」、地域の公共交通を担う「くま川鉄道」及び世界に誇る地域ブランド球磨焼酎を支える「球磨焼酎リサイクルン」は、地域の社会経済に様々な面で大きな影響力があり、地域に愛され親しまれる事業として、官民一体となって「地域住民が支える」仕組みづくりと啓発活動を積極的に展開すべきである。

今後、早急に市と3社が協議して経営改善計画を策定するとともに、経営評価制度を創設・運用していく必要がある。そのうえで、市と第三セクターは、出資者である市民への説明責任を果たすために、経営評価表及び決算書類等の公表に努め、情報の共有化を図るべきである。

また、行政が行う支援の在り方としては、第三セクター3社に対し、地域住民や他事業者等への社会的経済的影響を広範かつ中・長期的に十分検討した上で行う必要がある。

## 2 くま川下り株式会社

- (1) くま川下り株式会社は、観光及び文化面での強みを十分に発揮し、取り巻く環境に的確に対応できるよう、企業効率と関係者との連携を高めながら、積極的な経営改善を行っていくべきである。

国民宿舎事業は、設置者である市の方針により左右される部分が大いものの、川下り事業との相乗効果を図りながら、市内民間事業者との共存を原則とした経営に徹するべきである。

(2) 人吉市は、筆頭株主としての責任を十分に果たし、観光分野での中軸である川下り事業のさらなる魅力向上に向けて、会社側と歩調を合わせながら、実現可能な支援を行っていくべきである。

また、国民宿舎事業では、民営化も視野に入れた抜本的な在り方を平成22年度において早急に検討する必要がある。

### 3 くま川鉄道株式会社

(1) くま川鉄道株式会社は、人吉・球磨圏域の公共交通を担う重要な住民の財産であることを再認識し、将来に渡る健全な経営を目指して積極的な経営改善を行っていくべきである。

(2) 人吉市を含む関係自治体は、抱える問題は圏域での共通課題であるという認識のもと、経営効率を確保できるような新たな公的負担の枠組みを早急に構築し、さらに、関係者との連携強化を図りながら迅速な支援を働きかけていくべきである。

### 4 球磨焼酎リサイクル株式会社

(1) 球磨焼酎リサイクル株式会社は、近年重視される環境面で多大な貢献が認められるものの、第三セクター方式での企業価値を今以上に発揮し、持続可能な企業として存続していくために、今後も経営努力を続けていく必要がある。

(2) 人吉市を含む関係自治体は協議連携しつつ、環境教育が持つ可能性を十分に発揮できるような仕組み作りに取り組みながら、中・長期的な視点に立って、存続のための支援を行っていく必要がある。